

大人が絵本を 第19回 絵本が織りなす



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

* 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事/ファウンダー

絵本はいのちを刺激する

安静状態や極限状態にいる子どものベッドサイドで絵本を読みあうことで、その子にどれだけの安らぎと、楽しいと思う気持ちを与えることでしょうか。知らない空間に舞い降りたり、お友達ができたり、空を飛んだり変身したり、そんな時間を過ごすことで、いのちを慈しみ、それは病気の子どもに生きようとする新しい力を湧き立たせてくれる魔法の薬になり得ます。病気の子どもや、日常のほとんどを寝室やベッドで過ごす大人、高齢者にとって、絵本は心の薬となるのです。

乳幼児期においては子どもの生活は遊びという活動と一体的な関係にあり、遊びが生活そのものであると言われて¹⁾います。病児においても日常の遊びを確保し充実させることは生活の保障ともいえる重要なことです。病気であっても、入院中であっても、子どもらしく過ごすことこそが大切なクオリティー・オブ・ライフ(Quality of Life = 生活の質)です。ところが、病気や治療、入院によって遊びを制限されている病児も多く存在するでしょう。それが病気による苦痛や不安と相まって、病児のストレスが増幅されるのが現状ですが、さて、絵本が介在するとどうでしょうか。絵本で遊ぶことは、一見、静的遊びのようですが、行動を制限されている子どもにとっての絵本は、実は心も想像力も生き生きと活動する動的遊びとなるのです。それが子どもの日常生活と体験を豊かにして、自然治癒力を高めることにもつながるのではないのでしょうか。

いのちと向き合う瞬間

絵本と図鑑の親子ライブラリーは、親子や家族が

集う場所ですので、時に、会員ご家族が死と向き合われる姿に直面することもあります。それはお父様お母様の実父母でしたり、ご友人でしたり、その関係は多様で、お子様のこともあります。

2歳のSちゃんは同い年の仲良しの友達と、ある日を境に全く会えなくなりました。前の日は笑顔でバイバイしたのに、翌日Sちゃんのご両親が受けたのは「突然死」という知らせでした。お葬式に参列し、友達代表でお別れのお話もしたのですが、「死」をよく理解できていないSちゃんは、その後も友達と会えないことにパニックを起こしてしまったのです。そしてカウンセリングを受けるようになったのですが、外出できないほどの状態が続き、なかなか改善されないため、担当医より「絵本を使って、死を理解させてみてください」というアドバイスを受けます。こうして、いつもは両親とSちゃんの仲よし家族3人で来館していたビブリオキッズに、初めてお母様が一人で来館されました。2歳という低年齢ではありましたが、明るく元気なSちゃんの性格や絵本の好みが変わっていたため、2冊の絵本を紹介しました。

1冊は2歳児の理解につなげやすい『うさこちゃんの だいすきな おばあちゃん』です。

ブルーナの「うさこちゃん」は乳幼児に大人気で、楽しいストーリーが多いのですが、時に「死」や「病



『うさこちゃんの
だいすきな おばあちゃん』
ディック・ブルーナ 文・絵
まつおか きょうこ 訳
(福音館書店)



手にするときは！

いのちとは！ part2

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

気」をテーマとしたお話もあります。子どもたちが大好きなうさこちゃんの眼を通して、ブルーナが籠めたメッセージが伝わってくるようです。この絵本はおばあちゃん、つまり高齢者の「死」を描いたものですから、「死」ということを何となく感じたとしても、友達や子どもとの「お別れ」「もうだれもみることはできません」ということと結び付けにくいと想定しました。

そこで合わせて紹介したのは、先月号のPart1でも案内しました『サンタてんし3さい』です。2歳児には文字が多く少し難しくもありますが、病気の子どもたちを応援する天使に選ばれた主人公の年齢が2歳から3歳と、Sちゃんの等身大なのです。お話の最後は、小さな子どもたちにも受け止められる「(天使になった友達が) あなたのところにも来ていますよ」という文言で結ばれています。この絵本を「お父様お母様の声で、亡くなったお友達と重ね合わせながら、たくさんの言葉を添えて読みあってください」と助言をしながら、お渡ししました。それを2冊とも購入され、しばらくしてお母様から電話があり、Sちゃんが絵本のお話をじっと聴いていることや、うさこちゃんを気に入ってくれたことをお知らせいただきました。そして、半年以上経って、親子3人で久しぶりに来館され、「随分、落ち着いたけれど、まだ、時々まだらなときがある」ことをご報告

くださいました。

Sちゃんは、仲良しの友達と会えなくなった悲しみや辛さ、もどかしさ等の感情を、絵本という媒体を使って両親と共有したことで、少しずつ落ち着いていったのではないのでしょうか。お話を読んでもらったから、絵本を読んだからといって、感情をどうコントロールしたらよいかまで、2歳ではわからないのではないかと思います。絵本という媒体だけでは子どもへ及ぼす力は小さなものです。お父様お母様に抱かれながら、抱きしめられながら、共鳴し、安心感を持ったことで、少しずつ回復し癒されたのだと思います。子どもと親と絵本の三者が共鳴して生み出した最大のお薬です。



医療現場で活躍の場を広げる絵本たち

小児科の現場で定着しているプレパレーションのツールとして絵本が用いられるようになって、絵本はその存在感と力をメキメキと発揮しています。Vernonによるプレパレーションの目的は、「①子どもに正しい知識を提供すること ②子どもに情緒表現の機会を与えること ③心理的準備を通して医療者との信頼関係を築くこと」²⁾です。入院だけでなく、医療処置や検査などの前に心の準備としての作用があり、それを子どもにとってより効果的に実施するには、遊びの感覚でアプローチすることが求め



『サンタてんし3さい』
さばらよしこ 絵・文
(日本キリスト教団出版局)



『わたしのおとうと、へん…かなあ』
マリ＝エレーヌ・ドルバル 作
スーザン・バーレイ 絵
おかだよしえ 訳
(評論社)





られているのです。

プレパレーションの対象は病児だけではなくありません。親やきょうだいの方が病気になった子ども、障がいのある友達をもつ子どもに対しても、正しい知識を与え、理解と心の準備を整えてあげなくてはなりません。『いもうとのにゆういん』や『わたしのおとうと、へん…かなあ』は病児のきょうだいに向けた代表的な絵本ですし、母親が入院する理由を説明した『いちばんのおくすり』や子どもと一緒に亡くなった父のことを考えようとする『パパにはともだちがたくさんいた』など、家族を対象とした絵本も多数出版されています。



『いちばんのおくすり』
ジュリー・アイグナー・クラーク 作
ジャナ・クリスティ 絵
なががわちひろ 訳
(金の星社)



他にも友達を対象にした『チャーリー・ブラウンなぜなんだい?』や『たっちゃん ほくがきらいなの』などの絵本は、小学校における「いのち」の教材として活用されています。特に、障がいをテーマとした絵本の活用は目立っています。

このように、「いのち」のテーマ設定だけでもさまざままで、それらは子ども目線に立って構成されているものがほとんどです。病気や生と死を理解したり、あるいは子どもたちの不安や緊張を緩和したり、自分自身を責めたり否定したりしないで前向きに「頑張ろう」とする意欲を引き出せるようにつなげられることが、プレパレーション・ツールとしての絵本の特徴と言えるのではないのでしょうか。



絵本の持つメッセージを活かそう

絵本を用いたプレパレーションは小児科で始まり、現在では小児歯科医療の現場からの報告も多数ありますので、読者の皆さまで既に導入されている小児歯科医院も存在するでしょう。小児歯科医院からの報告を集約しますと、「子どもたちが治療に対して覚悟を決めることができ、器具に興味を示して情報探索したり、治療へ参加協力する行動が見られたりすることで、不安の軽減^{3)~5)}がその最大の目的と言えるのではないのでしょうか。

さて、本稿Part1冒頭でお話しました発達障がいの子どものたちが自然脱落に備えて気持ちを準備するときの手助けとなる絵本を、最後にご紹介しましょう。

『によきによき』は葉っぱがなくなってしまっても、もう一度種を蒔くと「によきによき」と新しい芽が出てきて、花が咲くことを表わしています。これを繰り返し読みあうことで、目には見えなくなってもじきにまた、新しいものが見られるという理解へつなげる読み方ができます。もう少し、具体的な循環を説明したものなら、『さくら』(福音館書店)がおすすめです。綺麗な花が咲いた後に、花は散ってしまうけれど、季節がめぐるとまた蕾ができ、新たな花が咲く繰り返しを説明しています。

別の視点では、写真絵本『いっしょだよ』(アリス



『いっしょだよ』
小寺卓矢 写真・文
(アリス館)



E-mail

安藤：bibliokids.baby1@gmail.com
 濱野：hamano@genkigawaku.com
 木須：nobuokisu@gmail.com

連絡先 福岡市南区大橋 3-2-1 2F
 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ
 TEL 092-557-3272 URL <http://bibliokids.jp>

ビブリオベビー
Bibli
Baby

館)は、自然界の摂理を通して「目に見えるもの、見えないもの、すぐ近くにも、ずっとずっと遠くにも、ちゃんと一緒だよ」を教えてください。「見えなくなっても大丈夫」を読みあつた後に、歯の絵本『ぬけたらはえるよ はははのは』(医歯薬出版)による歯のお話をおすすめします。



『ぬけたらはえるよ
 はははのは』
 広瀬克也 作
 (医歯薬出版)



絵本はずっと昔から、子どもたちの身近な存在であり、遊びのツールとして親しまれてきました。そのツールが今、子どもたちに寄り添いながら力を拡大し、メッセージをさらに増幅させています。遊び性の高い中でも、食、排泄、誕生、成長、病気等々、読む子どもたちの年齢に応じた「いのち」のメッセージが詰め込まれた絵本は、お父様お母様だけでなく医療者や教育者の頼もしい味方となってくれるでしょう。絵本はこれから、ますます活躍の場を広げていくと考えます。それは、活用する医療者や保護者など大人の行動次第なのです。

ありがとう
 ございました



文献

- 1) 三宅茂夫 他編著：保育内容「環境」論，ミネルヴァ書房，2010，p.90-107.
- 2) Vernon D 他著，長畑正道，渡辺敦 訳：入院児の精神衛

生～入院と病気に対する子どもの心理的反応，医学書院，東京，1978，p.7.

- 3) 浅野めぐみ，小口多美子：歯科治療を受ける幼児への絵本を用いたプリパレーション効果，日本看護学会論文集，小児看護，37：242-244，2006.
- 4) 中原順子：3歳児の歯科診療時の協力に関する研究－歯科絵本を用いた齲蝕治療の説明，小児歯科臨床，15(3)：67-76，2010.
- 5) 三浦宏子：口腔保健教育における絵本の活用，医学図書館，57(3)：266-268，2010.

絵本

- 1) ディック・ブルーナ 文・絵，松岡享子 訳：うさこちゃんのだいすきな おばあちゃん，福音館書店，東京，2008.
- 2) さはらよしこ：サンタてんし 3さい，日本キリスト教団出版局，2010.
- 3) 筒井頼子 作，林明子 絵：いもうとのにゅういん，福音館書店，東京，1983.
- 4) マリ＝エレヌ・ドルバル 作，スーザン・バーレイ 絵，おかだよしえ 訳：わたしのおとうと，へん…かなあ，評論社，東京，2007.
- 5) ジュリー・アイグナー・クラーク 作，ジャナ・クリステイ 絵，ながわちひろ 訳：いちばんのおくすり，金の星社，東京，2011.
- 6) 末盛千枝子 作，津尾美智子 絵：パパにはともだちがたくさんいた，すえもりブックス，東京，1995.
- 7) チャールズ・M・シュルツ 作，細谷亮太 訳：チャーリー・ブラウン なぜなんだい？－ともだちが おもい病気になったとき，岩崎書店，東京，1991.
- 8) 佐藤敏尚 作，宮本忠夫 絵：たっちゃん ぼくが きれいな のーたっちゃんは じへいしょう，岩崎書店，東京，1996.
- 9) 多田ヒロシ：によきによき，こぐま社，東京，2004.
- 10) 長谷川摂子 文，矢間芳子 絵：さくら，福音館書店，東京，2010.
- 11) 小寺卓矢 写真・文：いっしょだよ，アリス館，東京，2012.
- 12) 広瀬克也：ぬけたらはえるよ はははのは，医歯薬出版，東京，2004.